

まなびあ テラス 通信

おかげさまで
開館4周年！



Vol. 48

11月

まなびあテラスからの
お知らせを毎月
おとけします

「テラ フルニワシテ カイトユク 赤塚豊子と華雪」



豊子は動かない自分の足に、詩「アシ」の中で「オマエ」と呼び掛けています。「アシ」を華雪氏が2本の角材に書いた作品。

4日に1点のペースで東京から手紙と共に届けられる、華雪氏の「山」の作品は、22日に書いたもので11作目となりました。

9月12日(土)から特別展示室にて開催している展覧会「テラフルニワシテ カイトユク 赤塚豊子と華雪」が、いよいよ11月8日(日)をもって閉幕となります。

新型コロナウイルス感染拡大のため、展覧会初日にも来館が叶わずにいた書家の華雪氏が、10月21日、22日によりやく来館を果たされました。21日は展覧会をじっくり見られ、その後は豊子のお墓参りにいかれたそうです。

22日はまなびあテラスのアトリエにて、「山」の作品を制作されました。そして、朝、天童市上貫津山中のジャガラモガラを歩いてきた事、そこは豊子が自室から毎日眺めていたという雨呼山(あまよばりやま)の中腹であると知った事、8か月ぶりに眺めた雨呼山は、左右に山裾が広がりとゆったりと感じられた事など、色々お話ししてくださいました。

当たり前が当たり前ではなくなった今、思うようにならない身体を全身をかけて紡がれた豊子の言葉が、静かに胸に迫ってくる、そんな展覧会になったのではないかと感じています。



書きあげた「山」の作品と華雪氏。



アトリエで制作する華雪氏。

●展覧会「テラ フルニワシテ カイトユク 赤塚豊子と華雪」

会場:まなびあテラス 特別展示室
会期:開催中～11月8日(日)
開館時間:9:00～18:00/入場無料

【感染症拡大防止対策】

観覧の際は、すべての方のご署名とご連絡先を総合案内カウンターに提出していただきます。ご協力をお願いいたします。

華 雪 (かせつ)

1975年、京都府生まれ。書家。立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業。92年より個展を中心に活動。文字の成り立ちを綿密にリサーチし、現代の事象との交錯を漢字一文字として表現する作品づくりに取り組むほか、く文字を使った表現の可能性を探ることを主題に、国内外でワークショップを開催する。

赤塚 豊子 (あかつか とよこ)

1947年、天童市貫津生まれ。生後1年で小児麻痺(ポリオ)に罹り手足の自由を失い、発声機能にも麻痺が残る。18歳ころから家族に聞き書きしてもらい詩を書きはじめ、22歳のときカナタイプライターを得て、自分の力で詩作を始める。25歳で亡くなるまで66編の詩を書いた。死後、『アカツカトヨコ詩集』(1973年/蒼群社)等様々な書籍にてその詩が紹介される。



10月16日の豊子の命日に飾ってください。と『赤塚豊子詩集』の編者・永岡昭氏から頂いたバラの花束。

10月12日(月)、山形放送「news every」の「時を越えて」というコーナーにて、展覧会「テラ フルニワシテ カイトユク 赤塚豊子と華雪」が紹介されました。

放送にあたり、展示会場内では県内在住の詩人・高沢マキ氏のインタビュが行われました。高沢氏は著書の『高沢マキ 詩と詩論』において、赤塚豊子の作品を読み解いた詩論「悲しみは清らかにながれる」を書かれており、今回展覧会に合わせて刊行した書籍にも寄稿いただいています。

華雪氏へのインタビューもあり、お二人が豊子の詩を通して感じた思いなどを伝える内容になっていました。

その他、地元の山形新聞や朝日新聞にも展覧会の様子や豊子の生涯を辿る記事が掲載されました。

反響はその後全国にも及び、10月21日(水)の朝日新聞・東版の夕刊にも、夭折の詩人・赤塚豊子の企画展として大きく紹介されました。

記事によると、豊子は生前、母事に「私が死んだ後、いま私がやっていると、きつと大きな反響がある」と話していたそう。その言葉通りに、豊子の詩はこれからさういくことでしょう。

一般書

『なんてことないよ。アラ百の金言』

内海 桂子/著 自由国民社 779.1 円

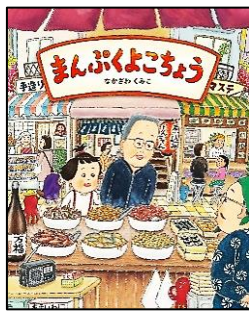


「ピンチの時こそ前を向け」「ワガママ言うなら覚悟して」などの名言を綴った芸人・内海桂子の体験談。「もうすぐ百歳今年ならわかる幸せ呼ぶ百の金言」と題し、『スポーニッポン』で連載したものを単行本化。

児童書

『まんぷくよこちょう』

なかざわ くみこ/作
文溪堂 E+



今日は、まんぷくよこちょう「ふくのいち」の日。たあちゃんはおいしいちゃんとお買い物。お惣菜屋さん、お魚屋さん、喫茶店に、駄菓子屋さん。商店街は楽しいことがいっぱい！「絵さがし」でも遊べる絵本です。

図書館

幅広い年齢の方にご利用いただける、自由な賑わいのある図書館です。



…今月の新刊案内…



のおはなし
かい

- ★ 1(日) 10:30 図書館スタッフ
- ★ 8(日) 10:30 一般サポーター・図書館スタッフ
- ★ 12(木) 10:30 図書館サポーター・ひこうき雲
- ★ 15(日) 10:30 図書館スタッフ
- ★ 22(日) 10:30 一般サポーター・図書館スタッフ
- ★ 26(木) 10:30 図書館サポーター・ひこうき雲
- ★ 29(日) 10:30 図書館スタッフ

場所は図書館内
相談カウンター前
だよ！



図書館イベント報告

10/10 (土) 『第4回ビブリオバトル』

4名のバトルに紹介していた本はどれも興味深いものばかり！

発表後のディスカッションでは、オーディエンスからたくさんの質問があり、今まででいちばん盛り上がりのあるビブリオバトルとなりました。



チャンプ本！

紹介された本

👑『世界の本屋さんめぐり』 ナカムラクニオ著

- 『秘文字』 泡坂妻夫ほか著
- 『戦場のタクト』 柳澤寿男著
- 『心友 素顔の井上ひさし』 小川荘六著

10/17 (土) ~ 18 (日)

『ぬいぐるみおとまりかい』

ぬいぐるみ達が夜の図書館でおとまりかいをしました。本の返却ポストのしくみなど、図書館の仕事も勉強しましたよ。



★ 11・12月のイベント ★

バリアフリー上映会「武士の家計簿」

字幕・音声ガイド付きで、ゆっくりと映画をお楽しみいただけます。

11/8 (日) 14:00~ (13:30 開場)

場 所：まなびあテラス 市民ギャラリー

定 員：30名 (申込先着順)

※電話 (0237-53-0227)・図書館カウンター・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。



※昨年度の様子。

こども上映会「ぴったんこ！ねござかな①」

座席はマットを敷きますので赤ちゃんも安心！

11/21 (土) 13:00~ (約30分) (12:30 開場)

場 所：まなびあテラス 市民ギャラリー

定 員：30名 (申込先着順・

小学2年生以下は

保護者同伴)

※電話 (0237-53-0227)、

または図書館カウンターでお申し込みください。



電子図書館体験会

電子書籍を体験してみましょう！

12/5 (土) ①11:00~/②14:00~ (各回30分程度)

場 所：講座室

定 員：各回10名 (要予約・定員になり次第締切)

対 象：18歳以上 (参加無料)

※電話 (0237-53-0227)、

または図書館カウンターでお申し込みください。

図書館に出かけなくても借りられるね！



※おはなし会・イベントに参加される際は、必ずマスクの装着をお願いします。

美術館

二つの展示スペースとアトリエを会場に、古今東西のさまざまな美をご紹介します。



10/16～10/19
縫いつなぐ夢くら 古布キルト展

市民ギャラリーにて、まなびあテラスの登録団体でもある「古布キルトくら」の展示会が開催され、連日大勢の市民の方々が鑑賞に訪れました。色とりどりの古布は、一期一会の素材。それらを大切に縫いつないで作られた、美しい作品ばかりでした。

【次回展覧会&関連イベント予告】

◆「瀬戸焼

受け継がれる千年の技と美」展

会期：12月12日（土）～

2021年1月31日（日）

会場：特別展示室・市民ギャラリーA

●講演会「瀬戸焼の魅力」

日時：12月12日（土） 11時～12時

会場：講座室

講師：武藤忠司氏（瀬戸蔵ミュージアム館長）

●「瀬戸ノベルティ」体験ワークショップ

「ノベルティ金魚をつくらう！」

日時：12月19日（土）

①10時～12時

②13時半～15時半

会場：講座室・アトリエ

※イベント参加受付は11月1日より開始。詳細は、館内配布チラシ、まなびあテラスのホームページをご覧ください。

10/25 2020年度 サポーター説明会・交流会

春から延期となっていた説明会も兼ねて、サポーター交流会を開催しました。今後の企画の説明会、美術館と図書館のバックヤード見学を行いました。

また、近く開催されるイベントのための小物作りをお手伝いいただき、お茶やお菓子とあたたかい交流会となりました。



10/11 臨床美術体験講座 「りんごの量感画」

講師に、臨床美術士の小関里美さんをお迎えし、「りんごの量感画」というプログラムを行っていただきました。秋の味覚・りんごを「五感」とオイルパステルを使って描いていくというもの。りんごの匂いを嗅いだり食べたりしてから描いていくので、小さなお子さんでも楽しんで参加していました。心のおもむくままに集中して描いた「りんごの量感画」はどれも個性的な作品に！



大胆な色使いが目をはきまします！

市民活動支援センター

市民活動支援センターは、さまざまな分野で活動している人たち、これから活動したいという人たちを支援する拠点施設です。団体登録していただくと各種特典があります。詳しくは総合案内までお問い合わせください。



クリスマスツリー装飾

日時：11/23（月・祝）10:00～

会場：エントランスホール

まなびあテラススタッフとサポーターがクリスマスツリーの飾りつけをします。



大人のためのものづくり講座 紅花染め シルクストールを染める

日時：12/6（日）14:00～16:00

会場：講座室・アトリエ

定員：10名（申込先着順）

対象：18歳以上

参加費：3,000円

持ち物：タオル、汚れてもよい服装など

講師：柳田哲雄氏（東北芸術工科大学芸術学部テキスタイルコース 講師）



11・12月のイベント

はじめての 消しゴムはんこ。教室

日時：11/8（日）、11/15（日）、11/22（日）
各日とも10:00～12:00

会場：講座室

対象：高校生以上、3回全ての講座に参加可能な方
※お子様同伴の参加は不可

定員：10名（申込先着順）

参加費：6,000円（全3回受講料＋道具キット＋保険料＋消しゴムはんこ備品他）

講師：高橋華詠（はなえ）氏



令和二年 初心者・中級者向け 古文書解読講座 ～「五人組御仕置帳」を読む～（全3回）

日時：11/29（日）、12/13（日）、12/26（土）
各日とも10:00～11:30

会場：講座室

対象：中学生以上、2回以上参加可能な方

定員：20名（申込先着順）

参加費：300円（初回参加時にお支払い）

講師：小山義雄氏（北村山地域研究会 顧問）



各お申し込み
お問い合わせ

電話（0237-53-0230）もしくは
総合案内カウンターへ直接。

各イベントの詳細は館内のチラシ・まなびあテラスのホームページをご覧ください。

【重要】※新型コロナウイルス感染拡大防止への対応について（おしらせ）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まなびあテラスでは引き続き以下の通りの対応を実施いたします。ご利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【期間】11月1日（日）～11月30日（月）

【対応】●図書館…貸出、返却、予約、本の検索可能。

学習室、インターネットコーナー、視聴覚コーナー、閲覧席、
ブラウジングコーナー、利用可能（それぞれ一部制限有）。

●美術館…通常開館。市民ギャラリーの一般利用可能（条件有）。

●市民活動支援センター…貸館、プリント工房利用可能（条件有）。

休館日

11月9日（月）

24日（火）

引き続き、11月1日以降も、下記の利用はできません。

●図書館：おはなしのへや

●エントランスホール（ロッカー前のみベンチを設置）

※第2、第4月曜日休館。
ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館。

※11月30日以降につきましても、感染症拡大の状況により、上記を継続する場合もございます。

【館内施設・部署の対応について（詳細）】

【図書館】

学習室…入室記録の個人情報は、利用日から2か月間保管します。官公庁からの要請等で当該情報を利用する場合があります。その目的外で使用することはありません。
入替制とし、一日一人一回のみの利用となります。

■月曜日～土曜日 [午前]10:00～14:00 [午後]15:00～19:00

■日曜日～祝祭日 [午前]10:00～13:30 [午後]14:30～18:00

※入場可能人数を、学習室1を最大20名、学習室2を5名までとします（予約・延長不可）。

※マスクの着用をお願いいたします。



おはなし会…会場を従来の「おはなしのへや」から、図書館内相談カウンター前へ変更しました。

【美術館】

展覧会「テヲ フルニワシテ カイトユク 赤塚豊子と華雪」

会期：開催中～11月8日（日）

※入場に際して検温、署名カードへの記入、人数制限等諸条件がございます。

詳しくは美術館内掲示・ホームページをご覧ください。



【講座室・アトリエ】

講座室の利用可能人数を、講座室Aを最大17名、Bを6名まで、アトリエは5名までとします（AB利用の場合は23名まで）。

貸館利用には、「施設利用に関するチェックリスト※」で順守事項及び利用条件を確認し、条件を満たさない場合はご利用できません。

ホームページからダウンロード可能※施設利用に関するチェックリスト（PDF）

利用申請について、貸出料金徴収を当日払いとします。利用申請を窓口だけでなく、E-mail や FAX でも対応可能とします（電話予約不可）。

利用時間は、1団体につき最大2時間まで。前後に1時間の除菌清拭・換気時間を設けます。利用は21:00までとします。

【まなびあテラス主催の各事業】

参加者氏名・電話番号について、学習室利用条件に準拠して行います。

小人数開催とし、座席の感覚を空けるなど密集防止の会場作りを行います。

手指消毒液を設置する他、定期的に除菌清拭・換気を行います。

ご不便をおかけ
いたします。



東根市公益文化施設

まなびあテラス 通信

第48号 2020年11月1日発行

〒999-3730 山形県東根市中央南1丁目7-3
TEL:0237-53-0223(代表)

開館時間

【図書館】 9:00～20:00(平日)／9:00～19:00(日祝)

【美術館】 特別展示室・市民ギャラリー 9:00～18:00 アトリエ 9:00～21:30

【市民活動支援センター】 9:00～21:30

ブーランジェリー・カフェ「オイッティ・マルシャン」 9:00～21:30(L.O.21:00)

【図書館】 TEL:0237-53-0227 FAX:0237-42-1295

【美術館】 TEL:0237-53-0229 FAX:0237-42-1296

【市民活動支援センター】 TEL:0237-53-0230 FAX:0237-42-1296